

# 総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成25年度)

## 2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ②ライフ・イノベーション分野(12/12)

	評価区分(*1)	総合評価 (IとIIの平均値にIIIを加味)	I 目標に向けた取組の進捗に関する評価	II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況	III 現地調査時の指摘事項及び対応状況等(*2)	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
国際医療交流の拠点づくり「りんくうタウン・泉佐野市域」地域活性化総合特区(大阪府等)	正	D 1.5	C 3.1  進捗度 ・国際医療交流の推進及び外国人診療機能の充実 ①外国医師等交流数 110% ②がん患者診療数 96% ③ペット(犬・猫)等診療数 99% ④医療通訳育成数 63% ⑤遠隔医療通訳ネットワーク医療機関数 10%  ・外国人訪日等の促進 84%	D 1.9  規制の特例等 ・地域活性化総合特別区域通訳案内士育成等事業  ・ペット(犬・猫)の輸入検疫制度の緩和  地域独自の取組 ・国際医療交流の拠点づくり促進補助金  ・企業誘致奨励金	-1.00	<p>・<u>全体のプログラムの総合的推進が展望できておらず、具体化に向けた現実的な対策が必要である。</u></p> <p>・<u>「国際医療交流」を目指している取組みとしては、「国際」部分に係る現状の進捗及び成果が不十分(※)である。</u></p> <p>・<u>東京オリンピック、がん医療、獣医療、国際医療交流、医療通訳育成等、確固たるポリシーがあるというより、話題性のありそうなものを取り上げており、何を目指しているのか分からない。</u></p> <p>(※)外国医師臨床修練の受入数を数値目標として設定しているが、現時点では受入れが困難であるとして、外国人医師の見学等の件数を代替指標としている。また、がん患者診療数及びペット等診療数には、国内からの診療も含むとしている。</p>

◆評価書は[こちら](#)

◆評価結果は[こちら](#)

\*1)「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。

\*2)「Ⅲについては、「地方公共団体による総合評価の状況」についても評価している。